

1年生

◆育てたい情報活用の実践力

ICTなどを操作・活用する力	情報手段（ICT）の基本的な操作と適切な活用	A. コンピュータやその他のICTに出会い、興味をもって使うことができる。
		1. コンピュータやその他のICTに出会い、電源の投入、終了やマウスの操作、機器を活用する際のきまりについて理解することができる。 2. 情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を撮影・再生できるとともに、紙にまとめたものを発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機で拡大提示することができる。

⇒ 具体的な教科・単元

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

分類	ICTなどの基本的な操作スキル・適切に活用する力	ICT機器名	ICTなどの操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
ICTなどの基本的な操作を習得する	ICTの操作を理解し、活用することができる。	ICTの基本的な操作	コンピュータやその他のICTに出会い、電源の投入・終了やマウスの操作、機器を活用する際のきまりについて理解することができる。	
		コンピュータ	コンピュータの電源の投入・終了、マウスの基本的な操作、簡単なソフトウェアの起動・終了	生活 なかよし いっぱい だいさくせん 4～6月
		デジタルカメラ、デジタルカメラ+デジタルテレビ・プロジェクタ	静止画の撮影・再生など基本的な操作	生活 なかよし いっぱい だいさくせん 4～6月 国語 はなそう、きこう 9月
		実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	映したいものの置き方や投影の仕方の理解 必要に応じたポイントあわせ・ライトの点灯	生活 なかよし いっぱい だいさくせん 4～6月 国語 こんな いしを みつけたよ 6月 生活 きせつと あそぼう 5～1月 国語 はなそう、きこう 9月
ICTなどを適切に活用する	10分間に200程度の文字を入力することができる。	文字入力に関する基本的な操作 コンピュータ		
	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	電子ファイルについての基本的な操作 コンピュータ		
	インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	インターネット、電子メールについての基本的な操作 コンピュータ、ブラウザソフト コンピュータ、メールソフト		
	情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	情報をまとめる際のアプリケーションソフトの適切な活用 文書作成ソフト 表計算ソフト プレゼンテーションソフト		
ICTなどを適切に活用する	情報を集めたり伝えたりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用することができる。	情報を集める、伝える際の情報手段の適切な活用	情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を撮影・再生することができる。また、紙にまとめたものを発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機で拡大提示することができる。	
		デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ プレゼンテーションソフト+デジタルテレビ・プロジェクタ	デジタルカメラで静止画を撮影しての情報収集、撮影した静止画を再生しての情報発信、ICT活用による、紙にまとめたものの拡大提示と発信	生活 なかよし いっぱい だいさくせん 4～5月 生活 きせつと あそぼう 5～1月 生活 おおきく なあれ わたしの はな 5～10月 国語 こんな いしを みつけたよ 6月 算数 いろいろな かたち 6月 算数 たしざん・ひきざん・三つのかずのけいさん・たしざん(2)・ひきざん(2) 6～9月 生活 いきもの だいすき 9月 国語 はなそう、きこう 9月 算数 大きいかず 1月 国語 おもい出して かこう 3月

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

課題を解決する力 ※すべての教科・単元の指導で意識し、育成していく内容です。	情報を集める力	A. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞いたりしたこと、絵や写真、文章を見たり読んだりしたことから、情報をワークシートやカードにかき抜いたり、写真に撮ったりして集めることができる。
		1. 観察して情報を集めることができる。 2. 絵や写真を見て情報を集めることができる。 3. 文章を読んで情報を集めることができる。 4. 人に質問して情報を集めることができる。 5. デジタルカメラで撮影して情報を集めることができる。
	情報をまとめる力	A. 集めた情報と考えを基に、文章(表現様式)や絵で、伝えたいことを意識してまとめることができる。
		1. 例に準じて絵日記や手紙などにまとめることができる。 2. 伝えたいことがよくわかる組立てを考えて、ちらしなどにまとめることができる。 3. キーワードを意識したり、語と語の続き方に注意したりして、簡単な文章にまとめることができる。
	情報を伝える力	A. 受け手を意識して伝えることができる。
		1. 実物を見せて伝えることができる。 2. 紙にまとめたものを見せて伝えることができる。 3. 簡単な劇で伝えることができる。 4. ICTで、紙にまとめたものを拡大提示して伝えることができる。 5. 受け手の方を見て、話することができる。 6. 姿勢や口形を意識して、話することができる。

※下線部で示したつきたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

2年生

◆育てたい情報活用の実践力

ICTなどを操作・活用する力	情報手段（ICT）の基本的な操作と適切な活用	B. コンピュータやその他のICTの初歩的な操作について理解し、操作することができる。
		1. コンピュータやその他のICTの構造を知り、画像処理ソフトで絵を描いたり、デジタルカメラで静止画を撮影したり、実物投影機などで拡大提示して発表したりすることができる。 2. 情報を集めるためにデジタルカメラで静止画を適切に撮影・再生（撮影したものの確認、消去など）することができるとともに紙にまとめたものや実物、デジタルカメラで撮影した静止画などを拡大提示して発表するために、デジタルテレビ・プロジェクタ・実物投影機・デジタルカメラといったICTを活用することができる。

⇒
具体的な教科・単元

課題を解決する力 ※すべての教科・単元の指導で意識し、育成していく内容です。	情報を集める力	B. 実際に見たり、体験したりしたことや、人に聞いたこと、絵や写真、文章を見たり読んだりしたことから必要な情報をワークシートやノートにかき抜いたり写真に撮ったりして集めることができる。 1. 観察・計測して必要な情報を集めることができる。 2. 絵や写真と文章を照応させて必要な情報を集めることができる。 3. 文章から必要な言葉や文を抜き出して情報を集めることができる。 4. <u>デジタルカメラを活用して必要な情報を撮影して集めることができる。</u> 5. 手紙で必要な情報を集めることができる。 6. 必要なことを聞き落とさないようにメモやノートに書き取りながら情報を集めることができる。
	情報をまとめる力	B. 集めた情報と考えを基に、必要な要素を落とさずに文章（表現様式）や絵で、伝えることを意識してまとめることができる。 1. 説明文にまとめることができる。 2. 観察記録文にまとめることができる。 3. 紹介文に必要な要素が何かを理解し、それを入れてまとめることができる。 4. 伝える相手と伝える内容を明確にして、手紙にまとめることができる。 5. はじめ・中・おわりの構成で文章を書いている。 6. 集めた情報を基に、絵や文章、写真などを組み合わせ、照応させながらまとめることができる。 7. 順序を表す表現を用いてまとめることができる。
	情報を伝える力	B. 伝えたいことが伝わるように受け手を意識して伝えることができる。 1. <u>ICTで写真や実物、紙にまとめたものを拡大提示して伝えることができる。</u> 2. 伝えたいことを明確にし、意識して伝えることができる。 3. 声の大きさ、速さ、顔の向きに注意して、はっきりした発音で伝えることができる。 4. <u>受け手が見やすいように立場所や、提示の場所などを考えて伝えることができる。</u> 5. <u>提示したものをさし示しながら伝えることができる。</u>

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

分類	ICTなどの基本的な操作スキル・適切に活用する力	ICT機器名	ICTなどの操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
ICTなどの基本的な操作を習得する	ICTの操作を理解し、活用することができる。	コンピュータ	コンピュータやその他のICTの構造を知り、画像処理ソフトで絵を描いたり、デジタルカメラで静止画を撮影したり、実物投影機などで拡大提示して発表したりすることができる。	図画工作 見つけたよ いいかんじ 4月 国語 はっぴょうしゅう 9月 算数 三角形と四角形 12月
	10分間に200字程度の文字を入力することができる。	デジタルカメラ、デジタルカメラ+デジタルテレビ・プロジェクタ	デジタルテレビ、プロジェクタへの出力	算数 学習の進め方 4月 生活 まちを たんけん 大はっけん 4～1月
	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	映したい部分の拡大 必要に応じた画像の保存、SDカードの挿入と保存、画像の投影	算数 学習の進め方 4月 生活 まちを たんけん 大はっけん 4～1月 生活 ぐんぐん そだて みんなのやさい 5～10月 国語 分かりやすくせつめいしゅう 11月
	インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	文字入力に関する基本的な操作 コンピュータ	電子ファイルについての基本的な操作 コンピュータ	
ICTなどを適切に活用する	情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	インターネット、電子メールについての基本的な操作 コンピュータ、ブラウザソフト コンピュータ、メールソフト	情報をまとめる際のアプリケーションソフトの適切な活用 文書作成ソフト 表計算ソフト プレゼンテーションソフト	
	情報を集めたり伝えたりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用することができる。	デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	情報を集める、伝える際の情報手段の適切な活用 必要でない情報の消去、静止画の拡大提示して発信、ICT活用による紙にまとめたもの、実物などの拡大提示と発信	算数 学習の進め方 4月 算数 ひょうグラフと 時計 みんなで話しあいしゅう 4月 生活 まちを たんけん 大はっけん 4～1月 生活 ぐんぐん そだて みんなの やさい 5～10月 生活 めざせ いきものはかせ 6～10月 国語 はっぴょうしゅう 9月 国語 分かりやすくせつめいしゅう 11月 国語 図書館のひみつをさがろう 12月 算数 三角形と四角形 12月 国語 読んだお話をしようかいしゅう 3月

※下線部で示したつけたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

3年生

◆育てたい情報活用の実践力

ICTなどを操作・活用する力	情報手段の基本的（ICT）な操作と適切な活用	C. コンピュータやその他のICTの基本的な操作について理解するとともにアプリケーションソフトの初歩的な操作ができる。
		1. ICTで記録した静止画や動画、音声のファイルをコンピュータに移動させることができる。 2. 適切な指使いで自分の名前や単語などを入力することができる。 3. 指定されたフォルダに、指定されたファイル名で保存したり、ファイルを移動させたりすることができる。 4. ホームページや電子メールを作成する際のルールやマナーを理解することができる。 5. アプリケーションソフトを立ち上げ、文字を入力したり、写真を挿入したりするなど情報をまとめる際の一部分で活用することができる。 6. 情報を集めるためにデジタルカメラで静止画及び音声を適切に撮影・録音・再生することができる。また、静止画や、プレゼンテーションソフトで作成した電子資料、紙にまとめたもの、実物などを用いて発表する際に、コンピュータや実物投影機・デジタルカメラ・プロジェクタ・デジタルテレビを活用することができる。

⇒ 具体的な教科・単元

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

課題を解決する力 ※すべての教科・単元の指導で意識し、育成していく内容です。	情報を集める力	C. 実験や見学などで体験したことや、人にとってインタビューしたこと、図書などの資料を見たり読んだりしたことから集めた情報を比較して必要な情報を選び、分類し整理することができる。 1. 準備をした上で適切な言葉遣いでインタビューをして情報を集めることができる。 2. 見字の中から必要な情報を集めることができる。 3. 実験の中から必要な情報を集めることができる。 4. 目的に応じて図書を選び必要な情報を集めることができる。 5. <u>デジタルカメラで静止画及び音声を撮影・録音・再生し、必要な情報を集めることができる。</u> 6. 辞書を使って必要な情報を集めることができる。 7. 絵や写真、文章、図、表、グラフ、映像などの資料から、必要な情報を集めることができる。 8. 課題の解決に必要な事例(必要な事柄)を集めて情報を分類することができる。 9. 書かれていることや考えていることを比較して情報を集めることができる。 10. 話の中心に気をつけて聞き、更に知りたいことを質問するなどして情報を集めることができる。
	情報をまとめる力	C. 集めた情報と考えを基に、絵や写真、文章(表現様式)、図、表、グラフを必要に応じて組み合わせ伝えて伝えることを意識して資料にまとめることができる。 1. 手紙や電子メール、はがきを書くときに必要な事柄を把握して、具体的な内容を盛り込みながらまとめることができる。 2. 報告の型にそって文章でまとめることができる。 3. 簡単なポスター、リーフレット、パンフレットにまとめることができる。 4. 簡単な新聞にまとめることができる。 5. <u>アプリケーションソフトで文字を入力したり、写真を挿入したりして情報をまとめることができる。</u> 6. <u>プレゼンテーションソフトを使って4枚程度の簡単な提示資料にまとめることができる。</u> 7. 文献を参照したり引用したりしてまとめることができる。 8. 大切な言葉や部分を強調してまとめることができる。
	情報を伝える力	C. 伝えたいことが伝わるように、受け手を意識して、大切な部分を強調したり適切な言葉遣いを用いたりして伝えることができる。 1. <u>実物や紙にまとめたものをはじめ、コンピュータでまとめたものをICTを用いて効果的に伝えることができる。</u> 2. 書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。 3. 敬体と常体の使い分けを意識して適切な言葉遣いで伝えることができる。 4. 相手を見て、大切な言葉や部分を強調して伝えることができる。 5. 言葉の抑揚、声の大きさ、間の取り方などを注意して伝えることができる。 6. 身振り手振りを入れて伝えることができる。

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

分類	ICTなどの基本的な操作スキル・適切に活用する力	ICT機器名	ICTでの操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
ICTなどの基本的な操作スキル・適切に活用する力	ICTの操作を理解し、活用することができる。	コンピュータ デジタルカメラ、デジタルカメラ+デジタルテレビ・プロジェクタ 実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	ICTで記録した静止画や動画、音声のファイルをコンピュータに移動させることができる。	理科 しぜんのかんさつをしよう 4～6月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人 農家の仕事 9～12月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつづられているもの 11～12月
	10分間に200程度の文字を入力することができる。	コンピュータ	適切な指使いで自分の名前や単語を入力することができる。	国語 ローマ字 10月
	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	コンピュータ	指定されたフォルダに、指定されたファイル名で保存したり、ファイルを移動させたりすることができる。	理科 しぜんのかんさつをしよう 4～6月 国語 話合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 農家の仕事 9～12月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつづられているもの 11～12月 算数 三角形 11月 社会 (副読本)地域や生活のうつりかわり 1月 算数 表とグラフ 1月 図画工作 アートたんけんたい 2月 社会 変わってきた人々のくらし 3月
	インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	インターネット、電子メールについての基本的な操作 コンピュータ、ブラウザソフト コンピュータメールソフト	ホームページや電子メールを作成する際のルールやマナーを理解することができる。 ホームページを作成する際のルールやマナーの理解 電子メールの作成についての理解、電子メールのルールやマナーの理解	社会 (副読本)わたしたちのまち 4月 国語 用件や気持ち伝わるように書く 7月 社会 地域や生活のうつりかわり 地域の人びとが受けついできたもの 1月(メールの作成)
ICTなどを適切に活用する力	情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	文書作成ソフト	アプリケーションソフトを立ち上げ、文字を入力したり、写真を挿入したりするなど情報をまとめる際の一部分で活用することができる。	国語 ローマ字 10月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 農家の仕事 12月 社会 (副読本) わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつづられているもの 11～12月
	表計算ソフト	ソフトの立ち上げ、数字の入力、タイトル・項目の入力	算数 表とグラフ 1月	
	プレゼンテーションソフト	ソフトの立ち上げ、写真の挿入、4枚までのスライド、スライドの増減、保存	国語 話合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 9月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 商店のはたらき 9～10月	
	情報を集めたり伝えたりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用することができる。	デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ プレゼンテーションソフト+デジタルテレビ・プロジェクタ	情報を集めるためにデジタルカメラで静止画及び音声を適切に撮影・録音・再生することができる。また、写真を中心に、プレゼンテーションソフトで作成した電子資料や、紙にまとめたもの、実物などを用いて発表するために、コンピュータや実物投影機・デジタルカメラ・プロジェクタ・デジタルテレビを活用することができる。	理科 しぜんのかんさつをしよう 4～6月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人 農家の仕事 9、12月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 工場でつづられているもの 11～12月 図画工作 アートたんけんたい 2月 社会 かわってきた人々のくらし 3月 国語 話合って決めよう 9月 社会 はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人々 9月 社会 (副読本)わたしたちのくらしとはたらく人びと 商店のはたらき 9～11月

※下線部で示したつきたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

4年生

◆育てたい情報活用の実践力

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

ICTなどを操作・活用する力	情報手段（ICT）の基本的な操作と適切な活用	D. コンピュータやその他のICT、アプリケーションソフトの特性を活かした活用方法を理解することができる。
		1. ICTで記録した静止画・動画・音声を他のソフトに挿入して活用するとともに、必要な静止画を選んで印刷することができる。 2. 適切な指使いで単語や短い文章を入力することができる。 3. 指定されたフォルダに、適切なファイル名をつけて保存したり、ファイル名を変えて移動したり保存し直したりすることができる。 4. インターネットのルールやマナーを理解し、キーワードを組み合わせて目的のWebページを検索することができる。 5. アプリケーションソフトの特性を生かした活用の方法を理解し、情報をまとめる際に活用することができる。 6. 情報を集めるためにデジタルカメラなどで静止画及び動画、音声を選択し、撮影、録音、再生することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵図、文字を組み合わせて作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、コンピュータや実物投影機、プロジェクタ、実物投影機、デジタルテレビに適切に活用することができる。

⇒ 具体的な教科・単元

課題を解決する力 ※すべての教科・単元の指導で意識し、育成していく内容です。	情報を集める力	情報をもとめる力	情報を伝える力
	D. 今までに経験した情報を集める方法と、アンケートやインターネットで情報を集める方法から、適切な方法を選択し、必要なものと不必要なものに分類したり、配列したりして整理することができる。	D. 集めた情報と考えを基に、絵や写真、文章(表現様式)、図、表、グラフ、動画を組み合わせる新新聞やポスター、リーフレット、コンピュータのプレゼンテーションソフトで作成する資料などに受け手が興味をもって見てくれるように工夫して、伝えるための資料にまとめることができる。	D. 伝えたいことが伝わるように受け手の状況を考えて工夫して伝え、伝え合ったときのことを振り返り、友だちの情報の伝え方について評価することができる。
	1. アンケートを作成、回収し、表、グラフに表して分析することで情報を集め整理することができる。 2. <u>インターネットを活用して情報を集めることができる。</u> 3. <u>デジタルカメラなどで静止画、動画、音声撮影、録音するなど目的に応じた方法で情報を集めることができる。</u> 4. 今まで経験した情報を集める方法から、適切な方法を選択して情報を集めることができる。 5. 必要な情報と不必要な情報を区別し、分類して情報を整理することができる。 6. 課題を決め、調べる方法を選択し、計画を立てて情報を集めることができる。 7. 集めた情報をまとめやすいように配列して、整理することができる。 8. 目的や必要に応じて情報を聞き分け、自分にとって必要な情報を集めることができる。	1. アンケートを基に結果を分析して考えをまとめることができる。 2. 報告書の型に沿って絵や写真、文章、図、表、グラフなどを効果的に組み合わせるまとめることができる。 3. 新聞の目的と特性を理解し、絵や写真、文章、図、表、グラフを効果的に組み合わせるまとめることができる。 4. 写真と文章を対応させてリーフレットにまとめることができる。 5. <u>アプリケーションソフトの特性を生かして情報をもとめることができる。</u> 6. 敬体と常体が混在しないようにまとめることができる。 7. 引用したり要約したりしてまとめることができる。 8. 吹き出しをつけたり、色を変えて分類したりするなどの工夫をしてまとめることができる。 9. 書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるように表現を考えたりしてまとめることができる。 10. グループで意見を交わし、結果の分析をして考えをまとめることができる。	1. 相手を決めて手紙で情報を伝えることができる。 2. <u>電子資料と紙にまとめた資料をICTを活用して効果的に伝えることができる。</u> 3. 受け手の表情、視線、しぐさなどの反応を見ながら伝えたい部分をさし示すなどの工夫をして伝えることができる。 4. 注目してほしいところに丸やアンダーラインなどの印をつけながら伝えることができる。 5. 友だちの発表と自分の考えとを関連させながら伝えることができる。 6. 自分の発言の仕方と友だちの発言の仕方を比較して伝え方について考えることができる。

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

情報手段の基本的な操作スキル・適切に活用する力	情報手段名	情報手段の操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
ICTの操作を理解し、活用することができる。	コンピュータ	ICTで記録した静止画・動画・音声を他のソフトに挿入して活用するとともに、必要な静止画を選んで印刷することができる。	理科 季節と生き物 年間 国語 調べ発表しよう 9月
10分間に200字程度の文字を入力することができる。	コンピュータ	適切な指使いで単語や短い文章を入力することができる。	理科 季節と生き物 年間 国語 調べ発表しよう 9月 国語 新聞のどこよと作り方をしよう 7月 算数 面積 8月 国語 調べ発表しよう 9月 社会 きょう土を聞く 11～12月 国語 写真と文章で説明しよう 11月 社会 わたしたちの県 1月 算数 直方体と立方体 2月 図画工作 ここには、きつというよ 2月
電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	コンピュータ	指定されたフォルダに、適切なファイル名をつけて保存したり、ファイル名を変えて移動したり保存し直したりすることができる。	理科 季節と生き物 年間 理科 天気と気温 4月 国語 調べたことを報告する文章を書く 5～6月 算数 折れ線グラフ 6月 国語 新聞のどこよと作り方をしよう 7月 算数 面積 8月 国語 調べ発表しよう 9月 図画工作 光でうつし出す世界(選択) 10月 社会 きょう土を聞く 11～12月 国語 写真と文章で説明しよう 11月 社会 わたしたちの県 1月 算数 直方体と立方体 2月 図画工作 ここには、きつというよ 2月
インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	インターネット、電子メール、コンピュータ、ブラウザソフト	インターネットのルールやマナーを理解し、キーワードを組み合わせて目的のWebページを検索することができる。	社会 わたしたちの県 1月(ホームページの作成) 国語 調べ発表しよう 9月 社会 (副読本)安全な暮らしを守る 火事をふせぐ 9月 理科 月の動き 10月 理科 星の動き 1月
情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながらか適切に活用することができる。	文書作成ソフト	アプリケーションソフトの特性を生かした活用方法を理解し、情報をまとめる際に活用することができる。	理科 季節と生き物 年間 国語 新聞のどこよと作り方をしよう 7月 国語 写真と文章で説明しよう「仕事リーフレット」を作ろう 11月 図画工作 ここには、きつというよ 2月
情報を集めたり伝える際に情報手段の特性を生かしながらか適切に活用することができる。	デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	静止画及び動画、音声の適切な撮影・録音・再生。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字を組み合わせて作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、コンピュータやプロジェクタ・実物投影機・デジタルテレビに適切に活用することができる。	理科 季節と生き物 年間 国語 調べ発表しよう 9月 図画工作 光でうつし出す世界(選択) 10月 社会 きょう土を聞く 11～12月 国語 写真と文章で説明しよう 11月 図画工作 ここには、きつというよ 2月
情報を集めたり伝える際に情報手段の特性を生かしながらか適切に活用することができる。	プレゼンテーションソフト+デジタルテレビ・プロジェクタ	写真や絵、図表、文字を組み合わせて作成した資料を基に発信	理科 季節と生き物 年間 国語 調べ発表しよう 9月 社会 きょう土をひらく 11～12月 図画工作 ここには、きつというよ 2月

※下線部で示したつきたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

5年生

◆育てたい情報活用の実践力

ICTなどを操作・活用する力	情報手段（ICT）の基本的な操作と適切な活用	E. 課題や目的を解決するために、適切なICTを選択して活用することができる。
		1.適切な指使いで文章を入力することができる。 2.フォルダを作成して、ファイルを整理・保存することができる。 3.ブラウザ、メールソフトの基本的な操作ができ、情報の検索やコミュニケーションに活用することができる。 4.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。 5.情報を集める上で適切なICTを選択・活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字を組み合わせ作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適切なICTを選択して活用することができる。

⇒
具体的な教科・単元

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

分類	情報手段の基本的な操作スキル・適切に活用する力	情報手段名	情報手段の操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
情報手段の基本的な操作スキルを習得する	ICTの操作を理解し、活用することができる。	ICTの基本的な操作		
		コンピュータ		
		デジタルカメラ、デジタルカメラ+デジタルテレビ・プロジェクタ		
		実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ		
情報手段の適切な活用	10分間に200字程度の文字を入力することができる。	文字入力に関する基本的な操作	適切な指使いで文章を入力することができる。	
		コンピュータ	文章の入力	社会 わたしたちの国土 4～6月 国語 筆者の考えをえらえ、自分の考えを発表しよう 5月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6～10月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10～11月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月
			10分間に100字～200字程度の文字の入力	社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12～2月 社会 わたしたちの生活と環境 3月
	電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	電子ファイルについての基本的な操作	フォルダを作成して、ファイルを整理・保存することができる。	
情報手段の適切な活用	インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	インターネット、電子メールについての基本的な操作	ブラウザ、メールソフトの基本的な操作ができ、情報の検索やコミュニケーションに活用することができる。	
		コンピュータ、ブラウザソフト	インターネットのルールやマナーの理解	社会 学習の進め方 4月
			ブラウザの基本操作（印刷、引用）とショートカットの作成	社会 わたしたちの国土 わたしたちの地球 4月 社会 天気と情報 1 4月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6～10月 社会 生命のつながり 7月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10～11月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月 社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12～2月 国語 自分の考えを明確にして読もう 1月
		コンピュータ、メールソフト	電子メールのルールやマナーの理解	社会 学習の進め方 4月
情報手段の適切な活用	メールソフトの基本操作			理科 天気と情報 2 10月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10～11月 社会 情報化した社会とわたしたちの生活 12～2月
	情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	情報をまとめる際のアプリケーションソフトの適切な活用	課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。	
		文書作成ソフト	グラフなど他形式ファイルの挿入、図・表機能の活用	社会 わたしたちの国土 4月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6～10月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10～11月 国語 理由づけを明確にして説明しよう 11月 社会 わたしたちの生活と環境 3月
		表計算ソフト	作成した表やグラフを他ソフトへ出力、グラフの種類選択	社会 わたしたちの生活と国土 4～6月 社会 わたしたちの生活と食料生産 6～10月 社会 生命のつながり 7月 社会 わたしたちの生活と工業生産 10～12月 国語 説明のしかたについて考えよう 11月 算数 割合・帯グラフと円グラフ 1月 社会 わたしたちの生活と環境 3月
情報手段の適切な活用	情報を集めたり伝えたりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用することができる。	情報を集める、伝える際の情報手段の適切な活用	情報を集める上で適切なICTを選択・活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字を組み合わせ作成した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するために、適切なICTを選択して活用することができる。	
		デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	適切な場面、機器の特性を生かした効果的な活用	
		プレゼンテーションソフト	写真や絵、図表、グラフ、文字、グラフを組み合わせ作成した資料を基に発信、プロジェクタへの接続	社会 わたしたちの生活と食料生産 6～10月 理科 生命のつながり 7月

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

課題を解決する力 ※すべての教科・単元の指導で意識し、育成していく内容です。	情報を集める力	情報をまとめる力	情報を伝える力
課題を解決する力	E. 課題や目的に応じて、今まで経験した情報を集める方法を使って、必要な情報を集め、情報を整理することができる。		
	1.漢字辞典で情報を集めることができる。 2.新聞の記事を読んだり、2つの記事を比較したりして情報を集めることができる。 3.目的や状況に応じた聞き方（インタビュー）を理解して情報を集めることができる。 4.社会的なことや統計資料から必要な情報を集めることができる。 5.インターネット、電子メールの活用の仕方やルールについて理解し、情報を集めることができる。 6.適切なICTを選択・活用して情報を集めることができる。 7.図・表・グラフと文章を関連させながら説明されていることを読み取ることができる。 8.集めた情報の全体を見通して、必要なものを選択することができる。 9.集めた情報を目的に応じて比較したり、分類したり、配列したりして、整理することができる。		
	E. 課題や目的に応じて、集めた情報や知識を関連づけ、目的や意図に合った構成を工夫しながら、伝え方に適した方法でまとめることができる。	1.活動報告書、提案書の型に沿ってまとめることができる。 2.課題や目的を達成するために、積極的にアプリケーションソフトを活用し、情報をまとめることができる。 3.集めた情報を基に、効果的な記事の書き方や編集の仕方などを理解してまとめることができる。 4.引用したり、実例をあげたりして、根拠を示しまとめることができる。 5.考えと根拠を区別してまとめることができる。 6.グラフや表を引用してまとめることができる。 7.複数の資料を組み合わせ新しい資料にまとめ作り出すことができる。 8.矢印を効果的に使ってまとめることができる。（指し示す矢印、動きを表現する矢印、時間の変化を表す矢印など） 9.伝えたい順序や強調したい部分に、番号や記号、印などを入れてまとめることができる。	
	E. 課題や目的に応じて、受け手や場に応じた適切な方法や言葉遣いで伝え合うことができるとともに、情報の伝え方について自己評価したり、他者評価したりすることができる。		
課題を解決する力	1.適切な情報手段を選択して伝えることができる。 2.必要に応じて共通語を使うなど、場に応じた適切な言葉遣いで伝えることができる。 3.資料を提示し、伝えたい事柄に注目するような工夫をして説明や報告をすることができる。 4.受け手の反応を確認しながら、臨機応変に説明を補足するなどして伝えたいことを伝えることができる。 5.電子資料や、紙にまとめた資料を、適切なICTを選択して効果的に伝えることができる。 6.発表を聞いて感じたことを、助言することができる。 7.書いたものを読み合って、助言し合うことができる。		

※下線部で示したつけたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。

6年生

◆育てたい情報活用の実践力

ICTなどを操作・活用する力	情報手段（ICT）の基本的な操作と適切な活用	F. コンピュータやその他のICT、アプリケーションソフトの基本的な操作ができるとともに、課題や目的を解決するために適切なICTを選択し、特性を生かした活用をすることができる。
課題を解決する力	情報を集める力	1.10分間に200文字程度の文字を入力することができる。
		2.課題や目的に合わせて適切にフォルダを作成し、活用しやすいように分類して保存することができる。
課題を解決する力	情報をもとめる力	3.課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、インターネットや電子メールの特性を生かして活用することができる。
		4.課題や目的を達成するために、適切なアプリケーションソフトを選択し、特性を生かし効果的に情報をまとめることができる。
課題を解決する力	情報を伝える力	5.情報を集める上で適切なICTを選択し、特性を生かして活用することができる。また、プレゼンテーションソフトを活用し、写真や絵、図表、文字、動画などを組み合わせ、アニメーション効果などを挿入した電子資料や、紙にまとめた資料などを用いて発表するための、適切なICTを選択して特性を生かして活用することができる。

具体的な教科・単元

◇ICTなどを操作・活用する力と教科・単元との関連

分類	情報手段の基本的な操作スキル・適切に活用する力	情報手段名	情報手段の操作スキル・理解	指導教科、単元、実施月
情報手段の基本的な操作	ICTの操作を理解し、活用することができる。	コンピュータ	ICTの基本的な操作	
		デジタルカメラ、デジタルカメラ+デジタルテレビ・プロジェクタ		
情報手段の基本的な操作	10分間に200文字程度の文字を入力することができる。	コンピュータ	文字入力に関する基本的な操作	10分間に200文字程度の文字を入力することができる。
		電子ファイルを整理して適切な場所に保存することができる。	電子ファイルについての基本的な操作	課題や目的に合わせて適切にフォルダを作成し、活用しやすいように分類して保存することができる。
情報手段の基本的な操作	インターネットの閲覧や電子メールの送受信をすることができる。	インターネット、電子メールについての基本的な操作	インターネットの適切な活用	課題や目的を解決するためにインターネットや電子メールを根拠をもって選択し、インターネットや電子メールの特性を生かして活用することができる。
		コンピュータ、ブラウザソフト	電子メールの適切な活用	
情報手段を適切に活用する	情報をまとめる際に、アプリケーションソフトの特性を生かしながら適切に活用することができる。	情報をもとめる際のアプリケーションソフトの適切な活用	文書作成ソフト	課題や目的を達成するために、適切なアプリケーションソフトを選択し、特性を生かし効果的に情報をまとめることができる。
		表計算ソフト	表計算ソフトの特性を生かした効果的な活用	
情報手段を適切に活用する	情報を集めたり伝えたりする際に情報手段の特性を生かしながら適切に活用することができる。	プレゼンテーションソフト	アニメーションの設定、発表用原稿の入力、プレゼンテーションソフトの特性を生かした効果的な活用	
		デジタルカメラ、デジタルカメラ、実物投影機+デジタルテレビ・プロジェクタ	適切な場面での機器の特性を生かした効果的な活用	
情報手段を適切に活用する		プレゼンテーションソフト+デジタルテレビ・プロジェクタ	写真や絵、図表、文字、グラフ、動画などを組み合わせアニメーション効果などを効果的に使った資料での発信	

情報手段（ICT）を適切に活用する力は、課題を解決する力につながります。

※下線部で示したつきたい力は、右の表二重枠で囲まれた単元で実践することができます。